

## 言語における鏡像現象

Mirror images in languages

加藤弘

東北大学留学生センター

katoh@intcul.tohoku.ac.jp

### 1. はじめに

言語には、しばしば鏡像関係（裏返し）の表現が存在する。本稿では日本語、韓国語、中国語、英語、フランス語、ドイツ語から材料をとって、その諸相を検討する。（「=」は助詞をマークする。「-」は形態素の切れ目をマークする。）

### 2. 鏡像関係1：正格（=主格）と斜格（≒対格、与格）

諸言語で「～へ向かって」を表わす表現が「～から」として用いられる。ここでは物の移動の方向が裏返し＝鏡像関係になっている。ここでは、加藤弘(1998)で指摘した日本語の助詞<に>における二方向性と同様のことが起こっていると考えられる。すなわち主格（主語）から斜格へ向けた他動性が弱まるのにあわせて、斜格が示す指向性が反転したのである。(3)では、一つの構文に二つの解釈がある。そのため「李家」が手紙の着点とも起点ともとれる。

#### ・日本語

(1a)母に小遣いをあげた。(1b)母に小遣いをもらった。

#### ・韓国語

(2a)ecey Tanakka-ssi =hanthey cenhwahay-ss -supnita.

きのう 田中さん に 電話する 過去 丁寧語尾

(きのう田中さんに電話をかけた。)

(2b)ecey Tanakka-ssi=hanthey cenwa pat - ass -supnita.

きのう 田中さん から 電話 うける 過去 丁寧語

(きのう田中さんから電話をもらった。)

#### ・中国語

(3)Lijia laile yi-feng-xin.

李家 来た - 量詞 手紙

(李家から私に手紙が来た。/李家へどこかから手紙が届いた。)

#### ・フランス語

(4a)J'ai preté cent francs à Pierre.

私+助動 貸す(過去分詞) 100 フラン に ピエール

(私は、ピエールに百フラン貸した。)

(4b)Pierre a emprunté cent francs à moi.

ピエール 助動 借りる(過去分詞) 100 フラン に 私

(ピエールは、私に百フラン借りた。)

(5)J'achète toujours mes fromages au (=a+le) même marchand.

私+買う いつも チーズ から 同じ 商人

(私はチーズをいつも同じお店で買う。)

- (6) Pour Noël, qu'est-ce que tu as acheté à ton fils?  
 ためにクリスマス 何を あなた 助動 買う(過去分詞) に あなたの 息子  
 (クリスマスのためにあなたは、息子さんに何を買ったの。)

### 3. 鏡像関係2：使役表現

使役構文が被動の意味で使われることがある。日本語では、特異な現象にみなされているが、他の言語を見ると、めずらしいことではない。

使役＝働きかけの際、主体はその結果についての責任を負うことをともなうものである。そして、特に好ましくない結果が生じる場合、その表現は、被動表現に近づく。そして主体は、動作の主動者というより被動者になる。

また、その表現を日本語に訳してみれば「一てしまった」を用いて、残念・不本意の気持ちを添えることができる。残念・不本意の気持ちをあらわすということは、主体がその行為に主動的にとりくんでいないということを表わす。

さらに日本語の「～てもらう」という表現は「係長には悪いが泣いてもらった(＝困難を引き受けさせた)。」では、使役文に近いが、「勘定が足りなくて、後輩に払ってもらった。」では、受動文に近い。

#### ・日本語

- (7)私は、息子を戦争で死なせた(＝死なれた)。  
 (8)息子にあんなことを言わせて(＝言われて)も、いいのか。

- (9)Wo rang ta shuo -le jiu.  
 わたし 使役助動 彼 話す 完了 二、三言  
 (話させる。／叱られる。(←話される))

#### ・中国語

- (10)Zhuoz mei jiao ta banzou.  
 机 否定辞 使役助動 彼 運ぶ  
 (運ばせなかった。／持って行かれなかった(被動)。)

#### ・フランス語

- (11) Il s'est fait renverser par un camion.  
 彼 再帰代名詞+助動詞 する(過分) ひっくりかえす によって(前置詞) 冠詞 トラック  
 (彼はトラックにひかれた。)

### 4. 鏡像関係3：物の授受、移動を表わす表現

同一の表現が「貸す」と「借りる」を表わす言語がある。

#### ・韓国語

- (12a) Ce=nun Tanakka-ssi=hanthey ton =ul kkwu -ess -supnita.  
 私 は 田中さんに お金を 借りる 過去 丁寧語尾  
 (私は、田中さんにお金を借りた。)

- (12b) Ce=nun Tanakka-ssi=hanthey ton=ul kkwu -eturi -ess -supnita.  
 貸す あげる 過去 丁寧語  
 (私は、田中さんにお金を貸してあげた。)

・中国語

(13a) Zhangsan jie Lisi yi -ben -shu.  
張三 貸す／借りる 李四 一 量詞 本  
(張三に李四に本を貸した。／張三に李四に本を借りた。)

(13b) Zhangsan jie gei Lisi yi -ben -shu.  
張三 貸す に対して 李四 一 量詞 本

(13c) Zhangsan cong Lisi jie yi -ben -shu.  
張三 から 李四 借りる 一 量詞 本

・英語

(14) Can I rent your house ? Yes, sure. I can rent it to you .  
(あなたの家を賃貸したいんですが。いいですよ。貸しましょう。)

・ドイツ語

(15a) Hugo lieh seiner Schwester zehn Mark.  
貸す 彼の 妹／姉 10 マルク

(ヒューゴーは妹／姉に10マルク貸した。)

(15b) Nobert hat sich zehn Mark (von Peter) geliehen.  
助動詞 再帰代名詞 10 マルク から ピーター 借りる (過去分詞)  
(ノーバートはペーターから10マルク借りた。)

日本語のように「貸す」と「借りる」を別々の語彙で表示する言語の観点からすると、これも奇異な現象にみえる。しかし、これは方向性の問題としてとらえれば、奇異な現象ではない。

たとえば、フランス語を例にみよう。

(16a) Vous avez emporté de quoi manger?  
あなた 助動詞 持って来る／行く (過去分詞) 部分冠詞 なにか 食べ物  
(何か食べるものを持ってきましたか。)

(16b) Tous de suite apres l'accident, on a emporté les blesses à l'hopital.  
すぐに の後で 事故 人 助動詞 運ぶ (過去分詞) 負傷者 へ 病院  
(事故のすぐあと怪我人はすぐに病院へ運ばれた。)

「emporter」は翻訳すれば「持って来る／持って行く」となるが、「～来る」と「～行く」の違いは話し手の場へむかう移動を「来る」と表現する日本語訳によるものである。フランス語としては、どちらも物を移動させるということで、移動の方向がどちらに向いているかには関知しない。上に挙げたそのほかの言語の例でも移動の方向は動詞の意味の中にふくまれていない。

## 5. 鏡像関係4：肯定と否定

肯定文と否定文も鏡像関係にある。文法上の肯否と文義上の肯否が逆になる文がある。

・日本語

(17) 日が暮れる (暮れない) 前に山小屋に着かなくてはならない。

(18) ぞっとしない (=ぞっとする)

・中国語

(19a) Jintian char-yi-dianr (mei) chidao = le.  
今日 ほとんど 否定辞 遅刻する 完了  
(あやうく遅刻せずにすんだ。)

(19b) Cha-dianr jiu kao-shang daxue.  
ほとんど 副詞 合格する 大学  
(もうすこしのところで、大学に合格しそこねた)

(20a) Zhao =le bantian, haorongyi cai zhaodao =le ta.  
さすが 完了 長い時間 やっと 副詞 見つけだす 完了 彼  
(さんざん探して、やっと彼を見つけた。)

(20b) Ta zhe -pan qi yingde haorongyi.  
彼 この 局(量詞) 将棋 勝った やすやすと  
(彼は、この一局をやすやすと勝ってしまった。)

・フランス語

(21) Prenez garde qu'on (ne) vous trompe.  
とる 注意 接続詞+人 否定辞 あなたを だます  
(だまされないように気をつけなさい。)

これらには「そこに描かれる事態が生じないように」という願いが反映されている。つまり(17)では「日が暮れないように」、(18)では「ぞっとしたくない」、(19a)では「遅刻したくない」、(22)では「だまされないように」という願いが背後にある。(19a)では、「遅刻する」が願わしくないことなので否定辞「mei」が現われ得る。しかし(19b)では、「合格する」方が願わしいことなので否定辞は現われ得ない。(20a)の「haorongyi」は「容易に、やすやすと」の意味である。文義からすれば、否定辞「bu」をともなった「haoburongyi」とあるべきである。しかし、ここでも「容易に」が願わしいことなので、こういう表現が成立しているのである。なお(20b)では、文字どおり「容易に」の意味でこの表現がつかわれている。

6. まとめ

個々の言語を見ると特異に見える現象でも、たとえ系統的に無関係であっても、いくつかの言語を対照することによって、一般的な現象である判断されるものがある。本稿では、「鏡像現象」という観点からいくつかの言語を対照して検討した。

参考文献

- Croft, w. (1991). Syntactic Categories and Grammatical Relations. University of Chicago Press, Chicago.  
Hopper & Thompson (1980). "Transitivity in Grammar and Discourse." Language 56  
Dubois, Jean (1978). Dictionnaire du Français Langue Etrangère niveau 1. Librairie Larousse, Paris.  
Engel, U. & Schumacher, H (1978). Kleines Valenzlexikon deutscher Verben. Gunter Narr Verlag Tuebingen.  
加藤弘・佐藤滋(1995a). "格助詞「が、で、を、に」の動的付与過程モデル." 言語処理学会第1回年次大会発表論文集, 373-376. 言語処理学会.  
加藤弘・佐藤滋(1995b). "受動化と使役化による格助詞の動的付与." 情報処理学会研究報告, 自然言語処理107-8.  
加藤弘 (1998) "助詞<に>の二方向性" 言語処理学会第4回年次大会発表論集. p680-683.  
川上誓作(1994). "日常言語の認知格モデル." 月刊言語, 23(1-12).  
菅野裕臣ほか (1991) コスモス朝和辞典(第2版). 白水社. 東京.  
安田吉実&孫洛範 (1992) エッセンス韓日辞典. 民衆書林. ソウル.